

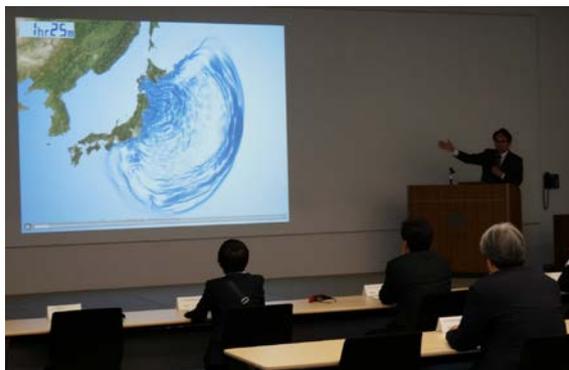
## 鶴保内閣府特命担当大臣が災害科学国際研究所を視察されました(2017/06/28)

テーマ：東日本大震災、減災社会、災害と人間

場所：東北大学災害科学国際研究所（宮城県仙台市青葉区）

2017年6月28日（水）、鶴保庸介内閣府特命担当大臣が災害科学国際研究所(IRIDeS)を視察されたのを受け、今村文彦所長による研究所紹介、東日本大震災の被災と復興に関する3D映画上映、蝦名裕一准教授（人間・社会対応研究部門 災害文化研究分野）および田所諭教授（地域・都市再生研究部門 災害対応ロボティクス研究分野）による研究活動紹介を行いました。

まず今村所長が当研究所の設立経緯・理念・組織構成、様々な研究活動、津波メカニズム等について紹介し、続いて被災地の記録である3Dドキュメンタリー映画「大津波 3.11 未来への記憶」（今村所長監修）を上映しました。次に蝦名准教授が、震災で被災した歴史資料の保全・修復や文理融合型の歴史災害研究について説明を行いました。最後に、田所教授および情報科学研究科の研究チームメンバーが、開発した様々な災害ロボットを紹介するとともに能動スコープカメラの実演を行い、災害現場でどのように活用できるか説明しました。視察を終えた鶴保内閣府特命担当大臣より、災害研の最前線の災害研究活動に対して激励と応援をいただきました。



今村所長発表



蝦名准教授による説明



田所教授らによる説明

文責：今村文彦（災害リスク研究部門）